

国際活動報告：日露共同研究航海のデータ取り扱いに関する 打ち合わせ

北海道大学低温科学研究所 西岡 純

計画班名：総括班

申請者氏名・所属・職名：安田一郎・大気海洋研・教授、西岡純・北大低温研・准教授

申請者連絡先 電話・メール：内 6040
ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp

011-706-7655,

nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp

対象者氏名・所属・職名：同上

対象者連絡先 電話・メール：同上

相手先氏名・所属・職名：Alexander
Dunaev, Alexey Scherbinin・ロシア極東
海洋気象学研究所（Far Eastern
Regional Hydrometeorological Research
Institute ; FERHRI)

相手先連絡先 住所・電話・メール：690091
ロシア国・ウラジオストック・フォンタナヤ
通り 24, 極東地域水文気象研究所・電話：
+7-4232-43-40-88・oef@ferhri.ru

申請項目（複数可、数字を記入）：1, 3

具体的内容：

2018年夏季に実施した、日露共同研究航海で得られたデータを公表するためにはロシ

ア政府からの許可を必要とする。このため、2018年12月13日に領域長・安田一郎（東京大学大気海洋研究所・教授）とA02-3班計画班代表・西岡純（北海道大学低温科学研究所・准教授）がFERHRIを訪れ、Alexander Dunaev 所長、Alexey Scherbinin 航海コーディネーターと許可申請書提出について打ち合わせを行った。以下にFERHRIとの打ち合わせで確認した事項について記載する。

1. 2018年夏季のMultanovskiy号航海の基本データに関しては、既にFERHRI側からロシア政府に許可の申請がなされたことを確認した。基本データとは船上で得られたセンサー関連（CTD・乱流系など）のデータが主で、他に船上で分析結果が得られている水温、塩分のデータが含まれている。

2. 2019年夏季にAlexander Dunaev 所長、Y. Volkov 前所長、Alexey Scherbinin 航海コーディネーターに札幌に来てもらい、今後の共同研究の進め方について打ち合わせを実施する計画を進めることで合意した。



2018年12月13日 FERHRI 訪問（左から、安田教授、ヤローシュさん、船長、ドナイエフ所長、シェルビーニさん、西岡）